

第1学年〇組 道徳科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 主 題 名 かけがえのない命 D 生命の尊さ

2 本時のねらい

- 他の命との関係性の側面から、生命の重さ、大切さについて考え、生き物に対する感謝と尊敬の心を育む。

3 準備・教材

- 教材名「いのちを考える」
- 教師・・・書画カメラ、ワークシート
- 絵本『いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日』坂本義喜作（講談社）

4 関 連

道徳 「あなたが うまれた ひ」（命のかけがえのなさ）

道徳 「よく生きること、よく死ぬこと」（限りある命を生きる）

5 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
導 入	1 人間にとっていなくなったら困る生き物とその理由を話し合う。 ・マグロ、イカ、ウナギ、サザエ、鶏、牛、豚（人間が食べるため） ・ウサギ、犬（人間が飼うため）	5	○生徒同士の顔が見えるように、机の向きをコの字型にして授業を行う。 ○人間、動物、植物などすべての生き物に共通していることは何かを問い、「命」に目を向けさせる。
展 開	2 教材を読み、話し合う。		
	「なぜ殺してはいけないのか」を、自分たちなりに考えよう。		
	・人間の都合で失ってしまった命に謝罪と感謝をすることで、大事な命をいただいていることに気付いてほしいから。 ・人間の最小限の生活にとって必要なものをいただき、それ以外を残すことが、地球上のすべての命を大切にすることにつながるから。	30	○人間の命だけでなく、すべての生き物の命の尊さにも目を向けさせ、「人間が生きていくために必要な分だけ感謝していただく」ことを押さえる。 補「いのちなしには生きられない」という言葉を、どのように受け止めましたか。 補「いのち」のどんなところが「同じ」なのだろう。
	3 生活を振り返り、自己を見つめる。		
終 末	これから「かけがえのない命」を守るために、どんなことを心がけたらよいでしょう。		
	・何でもむやみに殺すのではなく、大事な命をいただいていることを忘れないようにしたい。 ・もっと生きているものを保護し、人間との共存を図るべきだ。	40	○多様な意見を尊重しつつ、命について考えたことを広く発言させ、受け止める。 評すべての生き物に命があり、かけがえのない命を大切にしようとしている。 （発表、ワークシート）
	4 本時のまとめをする。 ○絵本『いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日』を聞く。（約7分）	50	○書画カメラで絵本を提示する。 ○絵本の読み聞かせをして、余韻をもって授業を終える。

6 本時の評価

- 生かされていることに感謝し、自他の生命の重さや尊さについて自分なりに考えを広げたり深めたりしている。  
（発表、ワークシート）